

# 新しいまちづくりの課題

## 市民と行政との協働のまちづくり

自分たちの地域は自分たちでつくるという気運の高まりの中、市民自治を基本とした個性豊かな地域づくりに向け、市民と行政が心をあわせた協働のまちづくり、それぞれの地域の特徴を活かしたまちづくりを進めていく必要があります。

そのためにも、まちづくりの基本となる条例を制定するなど、市民と行政の役割分担を明確化させる中で、協働でまちづくりを進める体制づくりが必要です。

## 健康づくりと支えあいの福祉環境づくり

少子高齢社会の中で、保健・医療・福祉の充実が必要となっています。「健やかで心豊かな生活を続ける」ための健康づくりの取り組みや地域における市民参加の福祉体制づくりをはじめ、安心して子どもを産み育てられる子育て環境づくり、高齢者や障がい者の介護と自立支援環境づくりを進め、市民が共に支え合い健康で安心して生活できる、やさしいまちづくりを進めてい

く必要があります。

## 安全・安心で暮らしやすい居住環境づくり

交通事故や犯罪、災害に対応した安全・安心の暮らしを維持するために、家庭・地域・行政が一体となった交通事故抑止・防犯・防災の取り組みを進める必要があります。

また、快適な居住環境のため都市機能が集積し、中心街の賑わいづくりなど魅力ある市街地の形成、道路網や情報ネットワークなどの基盤整備を進めるとともに、豊かな自然環境の保全、下水道の整備などを通じた生活環境の保全、自然と共生する循環型社会を構築する必要があります。さらに、本市において避けることのできない「冬の生活」については、地域の特性を活かし、雪を利用し雪に親しむ生活スタイルを創造していかなければなりません。

## 特色ある産業の創造と活力づくり

地域経済の活性化とそれに伴う雇用の場の創出には、豊かな

自然環境など地域特性を最大限に活かした産業振興が必要です。

各産業分野から観光・レクリエーションに至るまで、起業化と既存産業の育成や支援を進め、産業構造の変化に的確に対応した柔軟な対策を推進するなど、新しい時代における、本市の地域性に合致した産業を創造していく必要があります。

## 個性ある教育・文化・スポーツ環境づくり

創造力と豊かな心を持つ人材の育成には、生涯にわたって自発的に学習できる場の拡充、本市の特性を活かしたスポーツ活動や個性と魅力を生み出す文化活動の一層の活性化が必要です。

そのためには、学校教育環境の充実のもとより、市立大学をはじめとした特色ある地域資源と各分野における人的資源を有効活用した総合的な学習・文化・スポーツ環境づくりを進めるとともに、郷土芸能や地域文化の保存と活用を行っていく必要があります。